

ホーム ページ <http://www.asahikawamrc.com/>

第1104回 例会 № 18

11月の月間 テーマ ロータリー財団月間

平成28年11月24日 (木) PM6:30~7:00

本日の例会プログラム クラブ研修

場所 アートホテルズ 15F MINORI

**会長の時間 例会の意義と出席の重要性 4. 河崎 高麗男**

ガイ・ガンディカーは真のロータリアンを「常に電流が流れている電線」live wire にたとえています。電流が流れたり止ったりする電線は、何の役にもたちません。常に電流が流れる電線であるがゆえ、価値があるのです。毎週一回の例会に出れない人が、その職業の代表者としてロータリークラブの会員になったとしたら、その業界に与える損失は計りしれないものとなるでしょう。ロータリークラブはそのような無資格者を、直ちに排除して、同一職業分類の下で新たな適格者を入会させる努力をしなければならないと言われております。もし定期的に出席する確信がなければ、職業分類を代表しない方がよい。ロータリークラブは、常に電流が流れている電線のようなものである。電流が時おり流れる電線は、さして貴重なものではない。出席しない会員や出席状態の悪い会員に対する罷免の措置は、事業における決断のように、断行されなければならないと言っております。

If there is no affirmative assurance of regular attendance, the classification had best be unrepresented. Rotary is a live-wire club... a wire cannot be considered very much alive if the current only passes through it occasionally. The rule dropping members for non or irregular attendance should be enforced with characteristic business firmness. [A Talking Knowledge of Rotary]

ガイ・ガンディカーは我々が忘れさろうとしているロータリーの本質を首尾一貫して解いている書、1915年に刊行された「ロータリー通解」という書があります。本書はロータリークラブの目的として、

- ①会員個人の向上。
- ②会員企業を理解と現実において向上させること。
- ③会員の属する職業全体の向上。
- ④会員の家、町、国、ならびに社会全体を向上させること、とあります。

①は現在の「ロータリーの目的」が全てロータリアン個人を対象に書かれているという事に、②は「ロータリーの目的」の主文に見事に反映されています。会員個人個人の向上は、ロータリーの理想の追求と実践の基盤であり、その手段として例会があり、例会において異なる職業を代表する会員と親睦を深める中で互いに切磋琢磨し、職業人として自己を向上させなければなりません。例会はロータリーの原点であり、核心です。出席率の高い会員こそロータリークラブの宝なのだと書しています。

定款によって、ロータリーの正式な会合は例会と定められ、例会出席は会員の義務になっています。このことは、例会が奉仕の心を形成する唯一の場であることを示し、更に、毎週の例会にすべての会員が参加して、共に奉仕の心を形成するという目的に向って切磋琢磨する根源に、ロータリアンの友情、即ちロータリーの親睦を置いているからであります。

さらに細則によって、その他のあらゆるロータリーの会合として地区大会、IM、国際大会などがあげられ、すべての会員の出席が奨励されています。時間的、距離的、経済的な制約もあるので、国際大会はともかくとして、地区大会やIMには全員が出席すべきでしょう。地区大会やIMがマンネリ化して魅力に乏しいという声をよく聞きます。これらの会合がオフィシャルな会合と定められ、すべての会員の参加が奨励されている以上、単なるセレモニーや退屈な内容から脱却して、文字通り全員参加の喜びを肌で感じとれるものにする、主宰者側の意識改革と努力も必要でだと思います。

注意したいことは、例会以外のクラブの内部的行事は、ここで述べるロータリーの正式な会合とは呼ばないことです。親睦会やクラブ活動などのリクリエーションや、Fireside meeting や委員会などがこれに該当し、これらの会合への出席は自由であり決して強制であってはならないとされており。しかし、親睦会で皆と打ち解け合って友情を深めることも、Fireside meeting で討論を重ねて真理の探究をすることも大切なことであり、可能な限り出席すべきでしょう。

極めて重要な仕事と例会が重なった場合は、当然、仕事が優先されます。どう考えても、急患を断ってロータリーの例会にでることが、医師の倫理にかなうとは思えないからです。不幸にして健康を害した時も同様です。ストレッチャーに乗せられて例会に出席することが、特に賞賛に値する事例とは思えません。特別な事態が起こった時は常識が優先します。そのために、メイクアップという制度があるのです。又次週に続きをお話しさせていただきます。

第1104回例会 会務報告 小川 伸治



1. 国際ロータリー日本事務局経理室より、ロータリーレート変更通知 收受。
12月1日より 1ドル=106円 (11月まで102円)
2. 国際ロータリー第2500地区豊富ロータリークラブより、創立50周年記念式典終了の礼状 收受。
3. 国際ロータリー第2650地区京都モーニングロータリークラブより、会報№861～864 收受。
4. 国際ロータリー第2510地区札幌モーニングロータリークラブより、会報№1329～1335 收受。
5. 12月中市内他ロータリークラブ例会変更通知

12月 (木)	1日	旭川東北RC	夜間例会	花月会館
12月 (木)	8日	旭川東北RC	早朝例会	花月会館
12月 (金)	9日	旭川RC	夜間例会	グランドホテル
12月 (火)	13日	旭川西RC	夜間例会	グランドホテル
12月 (水)	14日	旭川北RC	夜間例会	グランドホテル
12月 (木)	15日	旭川東RC	夜間例会	アートホテル
12月 (木)	15日	旭川東北RC	夜間例会	花月会館
12月 (月)	19日	旭川南 RC	夜間例会	アートホテル
12月 (火)	20日	旭川空港RC	夜間例会	東神楽町商工会 1F
12月 (月)	26日	旭川南RC	休会	アートホテル
12月 (火)	27日	旭川空港RC	休会	東神楽町商工会 1F
12月 (水)	28日	旭川北RC	休会	グランドホテル
12月 (木)	29日	旭川東RC	休会	アートホテル
12月 (木)	29日	旭川東北RC	休会	花月会館
12月 (金)	30日	旭川RC	休会	グランドホテル

★旭川他RCメイクアップ時間 PM0:00～1:00

★ メイクアップ会場のお知らせ ★

① 旭川・西・北R 旭川グランドホテ 1F・フロント

C	ル	奥
② 旭川東・南RC	アートホテル旭川	1F・クローク前
③ 旭川東北RC	花月会館	1F・フロント前
④ 旭川空港RC	東神楽町商工会	1F・ロビー

「愛ロータリー」№6 ～愛がある ロータリーの友は 道標～ 広報雑誌委員会 嵯城 俊明

ロータリーの友12月号の読みどころは・・・何が出るかな♪何が出るかな♪

奉仕、その後・・・

横書き7ページ～

- ・護岸壁絵画の「さよならセレモニー」
- ・アフターケアは大丈夫ですか？
- ・せやまる文庫 設置から2年
- ・小田原城の美観に一役 木製時計塔のメンテナンス

ロータリー財団100周年を祝う

横書き13ページ～

- ・第4回「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」～今回も大成功！

IN CASE OF EMERGENCY

横書き20ページ～

- ・緊急事態に迅速に応えるシェルターボックス

2016-2017年度 地区大会
略報I

横書き34ページ～

第2530、2790、2830、2730、2510、2800、2600、2780地区

わが社の震災復興への取り組み

縦書き4ページ～

- ・心に染みた渋沢栄一先生の教え
- ・苦しくてもリストラしない
- ・人の奉仕、人の親切～震災で学んだもの

今月の柳壇

縦書き22ページ～

- ・相槌を 打ってる影が 首を振る
- ・見なくても 形勢わかる サァーの声
- ・新蕎麦や 六文銭が 旗を振る

脇坂 慎一 名札を持ち帰りました

笹川 和廣 今日は今期第1回目のオリエンテーションのご参加ありがとうございます。

佐々木 靖文 先日 東京駅1番線ホームで福居さんとハイタッチで別れました！



旭川モーニングRC 出席報告 飯塚 達夫

* 本日の出席 第1104回例会 総員 27名
11月24日 出席 23名
出席率 85.19%

* 修正出席 第1102回例会 総員 27名
11月10日 修正出席 24名
修正出席率 88.89%

* ビジター 旭川RC 1名

* メークアップ 11月17日 宮永憲一・脇坂慎一 (旭川東北RC)
11月20日 小川伸治・宮永憲一

(地区ロータリー財団補助金管理セミナー)

2016~2017年度 第1回
会員オリエンテーションプログラム

日時 28年11月24日 (木) 18:30~20:30

場所 アートホテル旭川 2F



会員研修委員長挨拶 笹川 和廣



この度のオリエンテーションに多くの皆様のご参加を頂き、誠にありがとうございます。

10月に北見市で開催されました「今年度の地区大会」に参加しましたが、特に印象付けられたことがありました。

それは市川伊三夫RI会長代理のご講演のお話ですが、21世紀に入り今後どう変化するか非常に不透明になっています。例えば、非常に大きな企業でもそこには「大きなうねり」が重なりあい、その集約が発展的な成果になっていると思いますが、もしかして、その「うねり」を知らずに真っ直ぐに進んだ企業が破たんした例があります。

(若いも若きも) 大志を抱けるロータリーに進化させ物事にトライしていきましょう。

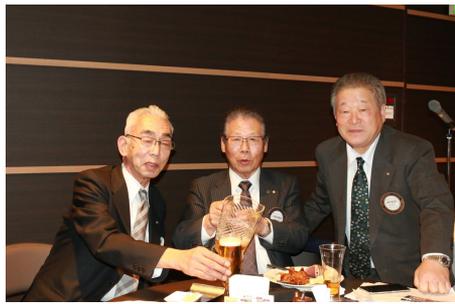
そのお話を聞いて、数十年前に釧路湿原の蛇行している川を人の都合で直線化したため、生態系が破壊され、また元のうねりに戻すための工事が行われたことを思い出しました。

我がモーニングRCは、そのメンバーの皆様が、それぞれの「うねりの結集」を交換し合うことで不透明な将来を見通していけたら素晴らしいと思います。

そこで、「本日の心構え」を「将来は益々不透明ですが、会員同士の経験を交流し合い前進しましょう！」とさせて頂きました。

そして、オリエンテーションの後の懇親会で、大いに語り合い発展させましょう！





2次会は「酔知」で皆様楽しく、交流を深めました。

